

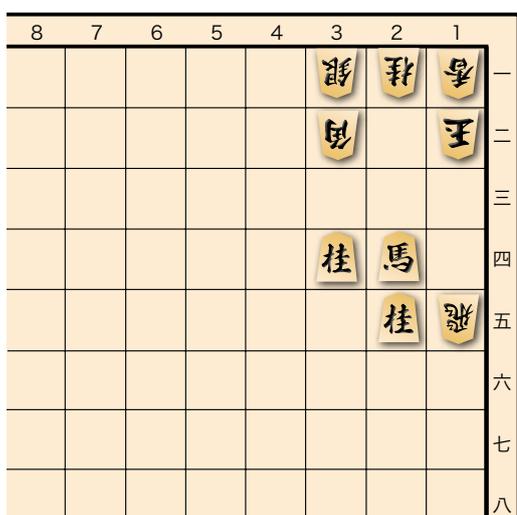
次の一手

答え合わせ

〈第24局〉

詰将棋 問題 7手詰 (10分で3級)

ヒント 馬を捨て、最後は3桂で



持駒 金桂

〈監修〉中田功八段

詰将棋 答え

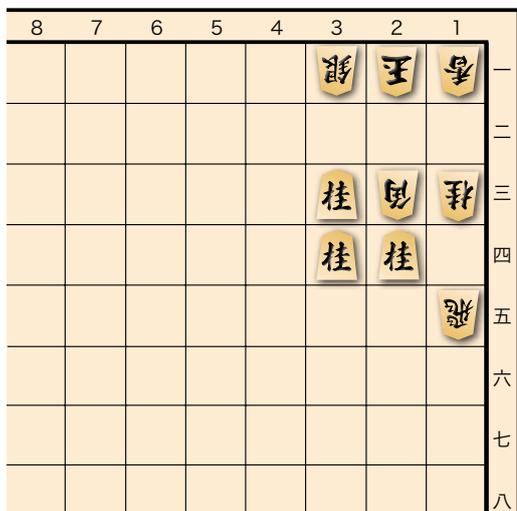
- ▲2 三金 △同角 ▲1 三馬 △同桂
▲2 四桂 △2 一玉 ▲3 三桂不成までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

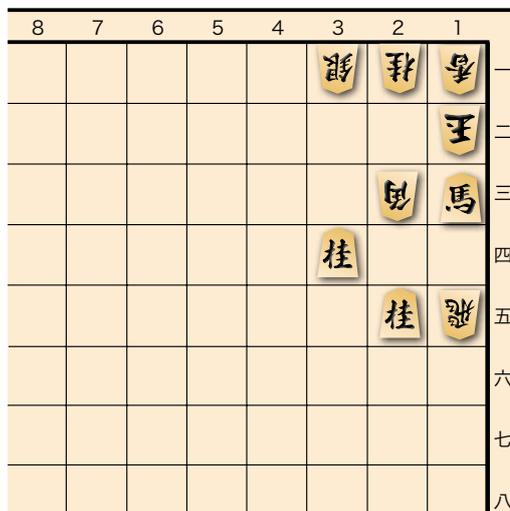
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」



詰め上がり図



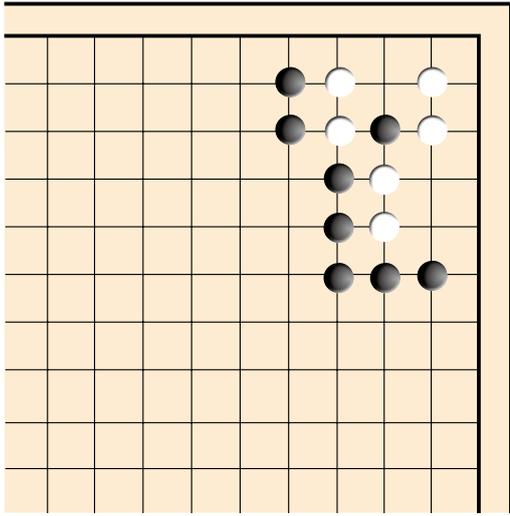
途中図 (▲1三馬まで)



(解説) ▲1 三馬が鮮やかな一手(2四に桂を打つスペースをつくる)。△同飛車だと▲2 四桂の一手詰なので△同桂ととるが▲2 四桂から△3 三桂不成で詰む。詰め上がりの図を見ると「3桂あって詰まぬこと無し」という格言の通り、桂の威力が良く分かる。

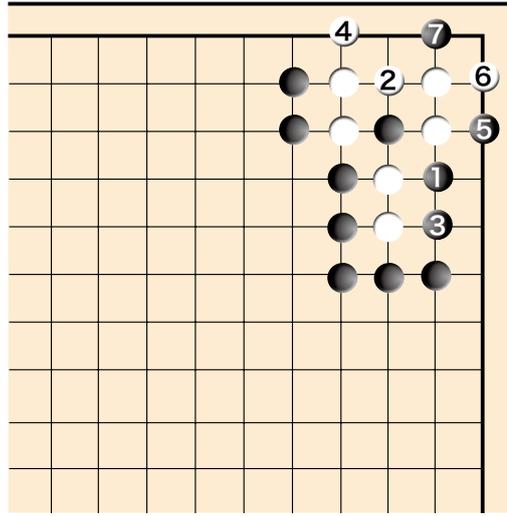
詰碁 問題 黒先白死 (3分で9級)

ヒント 少しの踏み込みが必要です



〈監修〉村岡美香四段

詰碁 答え



黒1まで踏み込むのが正解で、黒7まで三目ナカデで白が死にとなります。

村岡 美香 (むらおか・みか)

1963年9月19日生まれ。鹿児島県出水市出身。

鹿児島で小学一年生から父に手ほどきを受ける。六年生で大阪に引っ越し、関西棋院の院生を経験。モットーはバランス良く形良く打つ。

人生の指針となる言葉「石が流れるように打つ」

